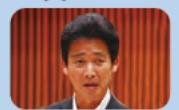


「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になります。(三重テレビ 7ch+dボタン)

## 専修学校生への支援

小林 正人 議員  
(自民みらい／鈴鹿市選出)



問

③ 専修学校は、多種多様な職業実践教育により、専門的な職業人の育成など重要な役割を果たしてきました。地元への就職率は大学の約2倍以上で、地域貢献度が高いという統計もあるのですが、多くの生徒は学納金や生活費の工面のため学習時間と確保することが難しい状況にあります。そこで、県独自の授業料減免補助制度を検討すべきと考えますが、いかがですか。



答

現在、専修学校の高等課程の生徒には、県の授業料減免補助金などにより支援をしていますが、専門課程の生徒にはこのような支援制度はありません。現在、国において専修学校生への経済的支援の方について総合的に検討が行われていますが、県としても、今後、支援の方について検討を行っていきます。

○障がい者雇用等 ほか

○事業所内保育所への支援 ほか

○他の質問事項

○動物愛護管理センター ほか

○ネット依存対策 ほか

○他の質問事項

2025年問題と  
民生委員制度

## 2025年問題と 民生委員制度

水谷 正美 議員  
(新政みえ／四日市市選出)



問

④ 2025年問題に向け、高齢者への対応など活動量が飛躍的に増えている民生委員を支援する必要があります。厚労大臣が委嘱する民生委員とともに、東京都や兵庫県が導入している知事が委嘱する民生委員協力委員は、新たな担い手育成にもつながる先進事例です。本県も現場の声をとりまとめて国・県・市町が協力して制度充実に向け取り組むべきと考えますが、いかがですか。



答

民生委員協力委員制度について、市独自の福祉協力員などとの役割分担、人材の確保、個人情報の保護などさまざま

な課題があると認識しておりますが、既に実たな制度の導入に施している他県など実施状況を参考にしながら、市町や関係機関の意向も踏まえ、検討していきます。

## 南海トラフ地震津波避難対策

西場 信行 議員  
(自民みらい／多気郡選出)



問

別措置法に伴う特別強化地域指定がなされ、指定された市町では今まで以上に高台等避難対策が加速すると予想されます。



地域での津波避難計画づくりの様子

答

本県では、特に津波避難対策に力を入れております。

個人の津波避難計画(⑤ Myまつぶラン)を作成し、地域の避難計画へとつなげる取り組みを各地域で展開しています。この取り組みを基礎に、市町の津波避難対策に係る計画策定や、新たな避難施設の整備について、今後とも積極的に市町を支援していきます。

## 東紀州地域の医師確保対策

津村 衛 議員  
(新政みえ／尾鷲市北牟婁郡選出)



問

るうえで、医師不足の問題は重要ですが、「へき地医療拠点病院」として指定されている医師で救急医療体制を維持しています。そこで、東紀州地域の医師確保対策をどのようにお考えなのか、まずはお聞かせください。また、尾鷲総合病院を

答

県では、東紀州地域に

対して、無料職業紹介などの医師確保を行つておらず、今後は、医師不足地域の医療機関も回りながら専門医資格定先の一つとして加えることはいかがですか。



地域医療支援センターのマスコット「そだつ君」